

## 産業廃棄物処理計画書

R7 年 5 月 15 日

熊本県知事 殿

## 提出者

住所 熊本県天草市港町11番6号

氏名 合資会社 山下産業  
代表社員 松下眞一(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)  
電話番号 0969-22-2476

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	合資会社 山下産業
事業場の所在地	熊本県天草市港町11番6号
計画期間	令和7年4月1日から 令和8年3月31日まで

## 当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	建設業		
②事業の規模	前年度完成工事高 ¥217,771,000-		
③従業員数	10名		
④産業廃棄物の一連の処理の工程	工事現場 運搬:自社運搬 <pre> graph LR     A[工事現場] --&gt; B[運搬:自社運搬]     B --&gt; C1[木くず]     B --&gt; C2[ガラコン・陶磁器くず・ガラス類]     B --&gt; C3[石膏ボード類]     B --&gt; C4[がれき(瓦類)]          C1 --&gt; D1[自社処分場]     C1 --&gt; D2[中間処理(焼却)]     C2 --&gt; D3[自社処分場]     C2 --&gt; D4[中間処理(切断)]     C3 --&gt; D5[自社処分場]     C4 --&gt; D6[自社処分場]   </pre>		

## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

統括責任者：代表社員 松下眞一

廃棄物責任者：役員 松下文雄

解体工事部責任者：松下文雄

土木工事部責任者：山下精一

焼却場

解体工事現場

土木工事現場

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

## 【前年度（6年度）実績】

① 現状	産業廃棄物の種類	木くず	燃えがら	廃プラ	ガラス類・コンガラ 陶磁器類	がれき類	建設汚泥		
	排 出 量	191.78 t	2.41 t	5.60 t	1,070.99 t	11.84 t	0.28 t		t
② 計画	産業廃棄物の種類	木くず	燃えがら	廃プラ	ガラス類・コンガラ 陶磁器類	がれき類	建設汚泥		
	排 出 量	t	t	t	t	t	t	t	t

(これまでに実施した取組)

分別の徹底による再資源化

## 【目標】

① 現状	産業廃棄物の種類	木くず	燃えがら	廃プラ	ガラス類・コンガラ 陶磁器類	がれき類	建設汚泥		
	排 出 量	180.00 t	5.00 t	5.00 t	1,050.00 t	11.00 t	0.50 t		t
② 計画	産業廃棄物の種類	木くず	燃えがら	廃プラ	ガラス類・コンガラ 陶磁器類	がれき類	建設汚泥		
	排 出 量	t	t	t	t	t	t	t	t

(今後実施する予定の計画)

分別の継続・徹底

## 産業廃棄物の分別に関する事項

① 現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	<p>種類</p> <p>木くず類 → 焼却(縮減) → 中間処理(造粒・固可)</p> <p>コンクリート類 → 中間処理(破碎・分級)</p> <p>石膏ボード類 → 中間処理(破碎・分級)</p> <p>鉄くず類 → 有価物売却</p>
② 計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	上記の継続・徹底

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項





## 備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

第 面

について